



### プロフィール

作品の名前	いろえ きんもり 色絵エナメル金盛 すいぎゅうもん かざりつぼ 水牛文 飾壺
作られた年代	ねんだい 1891年～1921年 (今から100～130年くらい前)
作られた場所	ぼしょ 日本
売っていた場所	ぼしょ アメリカ
裏側についているマーク	うらがわ 

へや  
部屋にかざるためのつぼで、  
高さは60cmほどあります。  
どのように作られたのでしょうか。

ここで  
Question!  
クエスチョン



どうぶつ  
q.1 どんな動物がいるかな?

q.2 このつぼは、2つのパーツをつないであります。  
どこでつないでいるのでしょうか?

このつぼにかくされたなぞは? うらをみてみよう▶

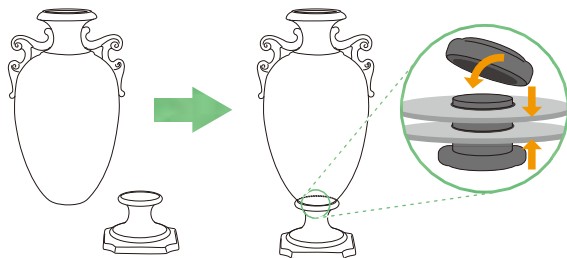
## A.1 水牛 すいぎゅう

みずべ ぐ なかま  
水辺に暮らす牛の仲間です。アジアの国に  
せいぞく はいけい ふうけい  
生息しています。背景はヨーロッパの風景の  
ふしぎ かん  
ようでちょっと不思議な感じがしますね

## A.2 ここがつなぎ目

かなぐ こてい  
上と下は分けて作られ、金具で固定されています。

- ① 上下を別べつに作る べつ
- ② 固定する部分に穴をあけ、  
金具でとめる。 こてい ぶぶん あな



## それまでの日本の陶磁器にはない形。 とうじき

とうじき 陶磁器の上下を分けて作り、かなぐ こてい 金具で固定する製法は、せいほう

ヨーロッパの作り方です。こうした外国の作り方を取り入れることで、  
めいじじだい 明治時代より前の日本にはなかった形が作られるようになりました。

すいぎゅう てんじやし 水牛の絵は転写紙（セルフガイドNo. 3 にくわしく書いてあります）を  
や つ はって焼き付けた上から、さらに ふで 筆で色をつけ、絵に深みを出しています。

これにハンドルや  
だいいざ  
台座がつくと、  
ごうかな  
ヨーロッパ風の  
形に見えます。



## 「ちょっと耳よりエピソード⑦」

## もりむら いちざえもん 森村市左衛門、パリへ行く

もりむら いちざえもん とよ きょうだいい 森村市左衛門と豊の兄弟は、1889年（今から130年くらい前）にフランスのパリで開かれた万国博覧会を見に行きました。そして、そこに てんじ 展示されていたヨーロッパ製の、白く美しい陶磁器を見て、強いあこがれの も 気持ちを持ちました。さらにパリの近くの町で、きかい 機械を使って、たくさんの陶磁器を作っている工場を見学 い します。市左衛門は、日本にもこういう工場が必要だと考えました。

「ちょっと耳よりエピソード」は全部で24話あります。すべて集めてならべかえると、ひとつのお話になります。続きはwebでも読むことができます。